

執筆者紹介

- 山 本 卓 (文教大学文学部英米語英米文学科)
山 田 忠 司 (文教大学文学部中国語中国文学科)
城 生 佰太郎 (文教大学文学部日本語日本文学科)
笠 原 園 子 (文教大学文学部英米語英米文学科・非常勤)

文教大学目録学研究会

- 向 嶋 成 美 (元文教大学文学部日本語日本文学科／
筑波大学名誉教授)
坂 口 三 樹 (文教大学文学部中国語中国文学科)
樋 口 泰 裕 (文教大学文学部中国語中国文学科)
渡 邊 大 (文教大学文学部中国語中国文学科)
小 田 健 太 (筑波大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程)
宇賀神 秀 一 (筑波大学大学院人文社会科学研究科博士後期課程)
加 藤 文 彬 (筑波大学大学院人文社会科学研究科博士後期課程)
王 連 旺 (鄭州大学西亜斯國際学院)

文教大学文学部紀要に関する規程

第1条 文教大学文学部紀要（以下、「紀要」という。）の発行等は、本規程に基づいて行われる。

第2条 紀要は、文教大学文学部に所属する教員が日本国および諸外国の言語・文学・思想・歴史・風俗等々に関する論考を発表することで相互に切磋琢磨する場とし、以て斯学界の発展に寄与することを目的とする。

第3条 紀要の編集は、文学部紀要委員会の責任において行う。

2 紀要の内容に関する最終的な責任は、文学部教授会がこれを負う。

第4条 紀要への投稿者は、次の者に限られる。

- (1) 現に文教大学文学部の専任教員である者。
- (2) 前号の定めによる者と共同して研究した者。但し、この場合の筆頭執筆者は本学文学部に所属する専任教員でなければならない。
- (3) 前1、2号の定めによる者以外の者で文学部紀要委員会が適当と認めた者。

第5条 紀要への投稿された論文等の掲載の可否は、文学部紀要委員会の審査による。

2 掲載可否の判定に当たっては、凡そ思想信条等に渉る事由を以てその判定基準とするようなことがあってはならない。

第6条 文学部紀要委員会は、投稿者に対して原稿の訂正を求めることがある。

2 原稿訂正の要求は、「文教大学文学部紀要執筆要領」に基づく定められた書式から著しく逸脱していると判断された場合に限り行われるのでなければならない。

第7条 論文等の投稿者は、文学部紀要委員会による審査結果に疑義ある場合、同委員会に対して文書をもって異議申し立てをすることがで

きる。

- 2 文学部紀要委員会は、論文等の投稿者から異議申し立てがあった場合、当該者に対して速やかに文書を以て回答し、経緯および措置について文学部教授会に報告しなければならない。

第8条 紀要は、平成7年度（1995年度）以降、原則として毎年2号を発行するものとする。

- 2 毎年、第1号の発行はその年度の7月とし、また、第2号の発行は1月とする。

第9条 本規程の改廃は、文学部教授会の議を経て行われる。

第10条 本規程は、平成7年（1995年）1月17日から施行する。

文教大学文学部紀要委員会規程

(設置)

第1条 文教大学学部教授会運営規程の第12条に基づき、文学部紀要委員会（以下、「委員会」という。）を置く。

(委員)

第2条 委員会は、以下の学部専任教員4名をもって構成する。

- (1) 文学部選出の図書館運営委員（2名）
- (2) (1)の図書館運営委員を出していない学科及び研究室の専任教員各1名
- 2 委員、委員長及び副委員長の任期は2年とし、再選をさまたげない。
- 3 委員の選出は、教授会が行い、委員長及び副委員長の選出は委員の互選による。

(招集等)

第3条 委員長は、委員会を招集し、会議を主催する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はこれを代行する。

(審議事項)

第4条 委員会は、次の事項を取り扱う。

- (1) 編集方針、編集計画及び編集作業
- (2) 投稿論文等の審査
- (3) 「文教大学文学部紀要に関する規程」および「文教大学文学部紀要執筆要領」の改変等に係る審議
- (4) その他、紀要等の編纂に関する必要な事項
- 2 委員会の審議結果については、教授会に報告し、審議または承認を受けなければならない。

(審査)

第5条 委員会は、投稿論文等の審査にあたって、論文等1篇につき複数の審査委員を選定することができる。但し、審査委員の委任は文学部長が行う。

(事務)

第6条 委員会の諸事務は、図書館総務がこれを取り扱う。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、教授会の議を経て行われる。

附則

本規程は、平成7年（1995年）1月17日から施行する。

附則

この規程は、平成13年（2001年）4月1日から一部改正施行する。

文教大学文学部紀要執筆要領

1. 《総則》

- ア) 文教大学文学部紀要（以下、「文学部紀要」という。）の編集は、「文教大学文学部紀要に関する規程」ならびに本要領に基づいて行われる。
- イ) 文学部紀要に論文等を投稿する者は、本要領のうち特に第2・第3・第4則の各号を遵守しなければならない。

2. 《投稿の申込み》

「文教大学文学部紀要に関する規程」第8条に定める毎巻第1号にあつては前年度の3月末日までに、また同第2号にあつては同年度の7月末日までに、所定の申込用紙（様式1）に題目・予定枚数・図表の有無など必要事項を明記の上、それぞれの学科・研究室の紀要委員へ提出する。但し、この際の題目は仮題であつてもよい。

3. 《投稿論文等およびその締切期日》

- (1) 投稿論文等は、未発表のものでなければならない。但し、口頭発表の場合はこの限りでない。
- (2) 投稿論文等は、斯学界の一定水準に達している、と認められるものであることを要する。
- (3) 投稿の締切期日は、各号第1号にあつては4月15日とし、また同第2号にあつては9月15日とする。
- (4) 投稿論文等は、前記の締切期日の期限内に、所定の用紙（様式2）を添付の上、図書館総務の担当者まで提出されなければならない。
- (5) 投稿に当たっては、万一の事故に備えて、本文原稿・図版・写真版等を必ずコピーしておく。

4. 《投稿論文等の執筆要項》

- (1) 投稿論文等の用語は、和語（日本語。以下同じ。）のほか漢語（いわゆる中国語。以下同じ。）・英語・独語・仏語などいずれの言語であ

ってもよい。

- (2) 投稿に当たっては、400字詰め原稿用紙1枚程度の要約 (Summary) および標題 (Title英文による) を別添するものとする。その際、要約原稿に用いる言語は、論文等の内容に応じて、和語のほか漢語・英語・独語・仏語等いずれの言語であってもよい。

- (3) 投稿論文等の原稿枚数については以下を目安とする。

(ア) 和語・漢語による縦書き原稿の場合

400字詰め原稿用紙で70枚。〈→刷上り30頁〉

(イ) 和語・漢語による横書き原稿の場合

400字詰め原稿用紙で70枚。〈→刷上り30頁〉

または、33字×28行で30枚。〈→刷上り30頁〉

(ウ) 英語・独語・仏語など欧文による横書き原稿の場合

A4版タイプ紙を使用し、double-space type (67st×281) で30枚。〈→刷上り30頁〉

- (4) 原稿作成に当たっては、投稿論文等の大見出し (標題) に3行分をとり、また小見出し (章題等) に2行分をとる。

- (5) 英文による原稿は、原則としてMLA (Modern Language Association of America) Style および LSA (Linguistic Society of America) Style によるものとする。

- (6) 特殊記号等を使用する場合は、記号見本などを原稿に添付しておくことが望ましい。

- (7) 図表 (写真を含む。以下同じ。) の原稿は、本文原稿とは別に作成し、仕上がりの大きさより2倍ないし3倍の大きさであることが望ましい。

- (8) 図・表の原稿にはトレーシングペーパーまたはこれに代り得るような半透明の薄紙を、必ず掛けておく。

- (9) 図・表の大きさの指定および通し番号は、原稿に掛けたトレーシングペーパー等の表面に明示する。なお、図・表の大きさ指定は、天地 (またはタテ) ××cm・左右 (またはヨコ) ××cmのように記す。

(10) 図・表の挿入箇所およびその通し番号・標題・説明等は、本文原稿中に明示する。

(11) 注記は、原稿の末部に一括することを原則とする。

(12) 本文中の注記番号は、縦書き原稿にあつては漢数字を用い、また横書き原稿にあつてはアラビア数字を用いる。

(13) 引用に係る注記（および参考文献）の書式は次のようにする。

(ア) 雑誌の場合

著者（論者）名・標題（論文名など）・掲載誌名・掲載誌巻号・掲載誌発行年月・引用ページ（または掲載ページ）の順に記す。

(イ) 単行本の場合

著者名・書名・発行年月・発行所・発行地・引用ページの順に記す。

(14) 図・表および注記などは本文の紙幅中に含む。

(15) 校正は3校まで行う。その際、投稿者は以下の4点を厳守することを要する。

(ア) 原稿はいわゆる完成原稿とする。

(イ) 初稿での加筆は極力さし控え、かつ再校以降で加筆を一切行わない。

(ウ) 初稿の加筆でも、その程度が甚だしい場合は、組み版代を重複請求されることがある。この場合、再請求分は投稿者の負担とする。

(エ) 校正刷りは5日以内に図書館総務の担当者まで返却する。

5. 《抜刷り別冊》

抜刷りは30部までを無償とし、30部を超える場合、その超過分の実費は投稿者の自己負担とする。

6. 《要領の改変》

本要領の改廃は文学部教授会の議を経て行われる。

7. 《施行期日》

本要領は平成7年度（1995年度）の文学部紀要第1号から適用される。

【2013年度紀要委員会委員】

城 生 佰太郎（日本語教育研究室・委員長）

寺 澤 浩 樹（日本語日本文学科）

大 場 博 幸（英米語英米文学科）

坂 口 三 樹（中国語中国文学科）

文教大学文学部紀要 第27－2号

2014年3月15日印刷・発行

編集 文教大学文学部紀要委員会

発行 文教大学

〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

TEL. 048-974-8811

印刷 開成出版株式会社

紀要交換業務は図書館で行っています。

—問い合わせは内線1702まで—

本紀要は図書館ホームページで公開しています。（一部を除く）